

<p>【学校教育目標】</p> <p>豊かな心と確かな学力、自主・自律の精神を身につけた児童の育成</p>	<p>【本年度の重点目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人権感覚と、知識理解に加え思考力・判断力 表現力が一体となって身につけている</li> <li>・一人ひとりが大切にされていることを実感できる学級</li> <li>・児童の疑問（問題意識）・感動・納得を大切に授業</li> <li>・積極的評価（称賛と価値付け）</li> </ul>
---	--

【4-大変よい 3-よい 2-努力を要す 1-すぐに改善】

領域	項目	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策		
学校運営		<ul style="list-style-type: none"> <li>・同学年会での、学力向上プランの振り返り(評価・改善シート)</li> <li>・PDCA サイクルによるマネジメントの充実</li> <li>・組織的対応による協働実践</li> </ul>	3.1	<p>【3.8】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* PDCAサイクルの日常化がテーマである。職員の意識化が大切。</li> <li>* PDCAサイクル学力向上プランや校務分掌の取組の改善が行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 各部において、取組内容についてはその都度反省を行い成果と課題を明らかにした上で、次年度の取組内容(実施計画案)を作成する。</li> <li>◇ 義務教育学校設立に向けて、各係で必要に応じて、小中連携に積極的に取り組んでいく。</li> </ul>	
		<p>〈結果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学期毎の指導の重点の評価及び改善策構築</li> <li>○ 校務分掌部会の開催と策の立案、協働実践</li> <li>● 短いスパンでのPDCA サイクルの確立</li> <li>● 余裕を持った、提案等と周知</li> </ul>				
総合所見		組織的協働実践を行っていくために、組織のスリム化と機能化を図り、その成果や課題を共有していく必要がある。				
教育課題(重点目標)	学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかる授業作りのために、主題研修(算数科)に全職員で取り組む。</li> <li>・複数体制での指導と書く活動の時間の確保</li> <li>・専科や指導方法工夫改善教員による補充</li> <li>・週1回のパワーアップタイム(計算領域)</li> <li>・家庭学習の個別化等による充実。</li> </ul>	3.2	<p>【3.2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* コロナ禍ではあったが、単元導入に視点をしぼり、焦点化した主題研修はわかりやすかった。</li> <li>* 算数科での個に応じた取り組み等、分かる授業作りが進められている。</li> <li>* 「話を聞く」「考えて書く」ことの自己評価が高く、保護者も授業作りや基礎学力の定着について高評価で成果が上がっていると思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 主題研修においては、視点を焦点化し、分かりやすい主題研修を推進する。(主題研修係)</li> </ul>	
		<p>〈結果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 習熟度分割授業の実施による重点単元の達成率の伸び</li> <li>○ 学ぶ意欲の持続・向上</li> <li>● 書く活動から話し合う活動へのつながり</li> <li>● 各単元テスト・学期末テストの結果を基にした補充や習熟を図る取組の継続</li> </ul>				
		生活習慣・体力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と連携した「マイプランカード」取組</li> <li>・NPO や生涯学習課と連携したメディア教育</li> <li>・全学年コーディネーショントレーニングの実施(低学年学期2回・中高学年学期1回)</li> <li>・外遊びの奨励(体力アップシートの活用)</li> </ul>	2.8	<p>【3.0】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 自分の身体を自分で守る意識づけに計画的に取り組んでほしい。</li> <li>* コロナ禍で子どもたちの体力の低下が懸念される中、外遊びの奨励や家庭と連携した取り組みが行われていることは意義深い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ コロナ対応も含めて、各係でどのような取組が可能かを検討する(保健係)</li> <li>◇ 外遊びの奨励等は、本年度の取組の成果と課題を明らかにし、次年度の具体策を明らかにする。(保健係・体育係)</li> </ul>
		<p>〈結果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 長期休業における生活習慣の意識向上</li> <li>○ 体育委員会による外遊びの奨励の放送実施</li> <li>● 家庭と連携した取組の徹底(マイプランカードの提出)</li> <li>● 体力テストの結果や体力アップシートの活用</li> </ul>				
	思いやりの心・規範意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめアンケートの実施による児童の実態交流、未然防止と初期対応の徹底</li> <li>・各学級に道徳コーナーの設置と学んだ足跡を振り返る道徳ファイルの活用</li> <li>・児童の委員会活動による取組と振り返り、「あいさつ運動」「廊下の歩行」等</li> <li>・言語環境を整えるための全校的な取組</li> </ul>	3.2	<p>【3.6】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 昨年度からの「道徳コーナー」の設置やいじめアンケートによる早期発見、早期対応がシステム化していると感じた。</li> <li>* 人権学友の相互参観を実施し、授業改善に取り組んでいる。特別支援学校と連携し、障がいへの理解・啓発を推進している。</li> <li>* 保護者アンケートで1学期に比べて数値が下がっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 道徳コーナーが機能しているかを再確認し、次年度に向けて改善点を明らかにする。(道徳係)</li> <li>◇ いじめアンケートのチェック体制や事後対応について本年度のシステムを見直し、課題があれば改善していく。(遅刻・いじめ・不登校係)</li> <li>◇ 本年度の取組の課題をもとに、次年度以降の障がいに関わる人権学習について、各学年のねらいと系統性を作成する。(特別支援教育係)</li> </ul>	
	<p>〈結果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめアンケート実施による組織的児童実態交流</li> <li>○ 道徳コーナーの活用状況の把握と声かけ</li> <li>○ 言語に関わる掲示コーナーの設置による啓発</li> <li>● 道徳科と関連させた推進</li> <li>● 保護者や地域の情報収集と指導の充実</li> <li>● 学ばせたい道徳的価値の絞り込みと、学んだ道徳的価値の日常における振り返り</li> </ul>					
	安全・開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防整備会社や警察署等と連携した避難訓練(火災・地震)</li> <li>・学校通信、HPと学年・学級通信の定期発行</li> <li>・「福岡アクション3」による不登校未然防止</li> <li>・日常の家庭訪問・家庭連絡による対応の構築</li> </ul>	3.4	<p>【4.0】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 小中連携がより充実していくと、もっと可能性が広がるのでは。</li> <li>* アンケート結果から、保護者が学校の様子をよく知りえていることがわかる。HPで学校通信等を公開しており、情報提供に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 本校のどのような情報を発信していくのかを明らかにし、計画的に情報発信していくようにする。(めざす児童像をもとに。)(情報教育係)</li> <li>◇ 積極的生徒指導の実施に向けて、一般研修等で共通理解を図り、生徒指導部を通して具体的な指導を提案していく。(一般研修係・生徒指導部)</li> </ul>	
	<p>〈結果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ マニュアルによる共通理解、注意喚起</li> <li>○ 学力テストの結果、コロナ対策等の公表(HP・お便り)</li> <li>○ アンケート「仲良く過ごしている」4%アップ</li> <li>● さらなる関係機関との連携</li> <li>● 視点を明確にした意図的計画的な情報公開</li> </ul>					
総合所見		今後も学力向上を図るためにも、学習の基盤づくりや児童一人一人が大切にされる集団づくりを行っていく必要がある。				